

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
その他必要がある場合、あらかじめ公告する一定の日
- 株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
- 同 連 絡 先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-782-031（フリーダイヤル）
- 公 告 の 方 法 電子公告により行う
公告掲載URL <http://www.teikokudenki.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
- 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同 連 絡 先 〒541-8502 大阪府中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
TEL 0120-094-777（フリーダイヤル）

(ご注意)

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。株主名簿管理人（三井住友信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行本支店でお支払いいたします。

TOPICS



帝国電機製作所・ 光都工場竣工

平成25年8月6日に、当社の光都工場が播磨科学公園都市内に竣工いたしました。
本工場では、キャンドモータポンプの基幹部品であるモータコア等を製造しています。いままで外部に委託していた工程を内製化することにより、さらなる生産性の向上を目指します。

株式会社 帝国電機製作所 〒679-4395 兵庫県たつの市新宮町平野60番地
TEL 0791-75-0411（代表）



株式会社 帝国電機製作所

Business Report

株 主 の 皆 様 へ

第110期 中間報告書

平成25年4月1日から平成25年9月30日まで

認知度向上に努め、さらなる 海外市場の開拓を推進。



代表取締役社長 宮地 國雄

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
当社グループの第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高88億45百万円（前年同期比3.2%減）、営業利益6億57百万円（同35.7%減）、経常利益9億56百万円（同1.0%増）、四半期純利益5億74百万円（同1.9%減）となりました。

前期は過去最高の業績となった一方で、その裏側では新興国等の景気減速による設備投資の落ち込みやポリシリコンの需要低下に伴い、受注残高が減少傾向となり、その結果が上半期の業績に影響しております。また、前年度に受注した採算の悪い案件の売上が計上されたことが、利益率を下げた要因となっております。

明るい兆しとしましては、ポンプ事業においては、中国において新素材の生産プロセスに必要な高機能製品がようやく市場に投入できるようになり、今後の伸びが見込めるようになりました。お客様ごとのご要望にお応えする製品開発は、当社の強みを活かした最も得意とする

ところ です。またPM2.5の対策として、ガソリン精製時の有害な硫黄を除去するプロセス向けに、当社の超大型キャンドモータポンプの引き合いも増えてきております。これらの付加価値の高い製品は、利益率の回復にも寄与すると期待しております。

アメリカにおいては、長年キャンドモータポンプの認知度の伸び悩みを課題としておりました。近年より販売戦略を変更し、これまでの代理店に頼る販売から直販営業の強化にシフトし、積極的にプロモーションを行ってきた結果、大手化学メーカーにも広く認識されるようになり、見積もり依頼や受注につながってきております。さらには、シェールオイル・シェールガス関連の引き合いが増えてきており、今後本格的にプラントが稼働していけば、それに伴って下流の化学基礎材料のプラントも建設され、さらに需要が伸びるものと期待しております。

電子部品事業については、ここ最近の自動車業界の回復傾向に伴って、当社への引き合いも徐々に増えてきております。過去に行ってきた設備投資を活かし、海外で

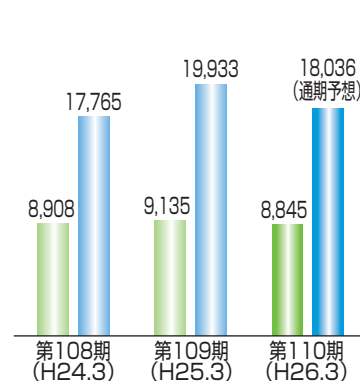
の価格競争にも対応しつつ日本製ならではの高性能をアピールすることで、海外の部品メーカーにシフトできない高い品質が求められる部品に特化してまいります。

今後の成長のためには、さらなる海外市場の開拓が必要です。すでに海外売上比率は60%以上となっておりますが、今後70%を目指してまいります。国内においては付加価値の高い製品開発に注力し、いずれその技術を海外へ展開することで、売上拡大と確固たるブランド力の構築を目指してまいります。

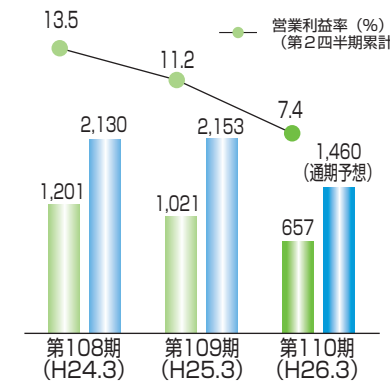
海外においてキャンドモータポンプの認知度はまだ十分とは言えません。それはつまり、世界各地に開拓できる市場がまだまだあるということです。今後一層の営業活動の強化と技術力の向上に努めてまいります。株主の皆様には変わらぬご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

平成25年12月

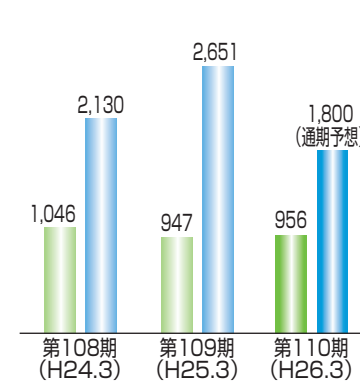
● 売上高



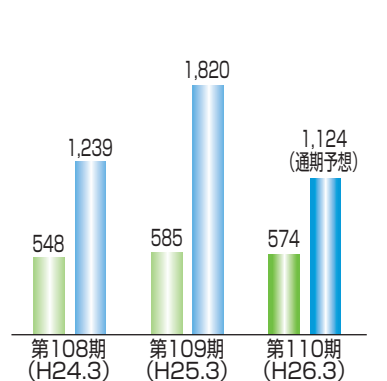
● 営業利益／営業利益率



● 経常利益



● 四半期(当期)純利益



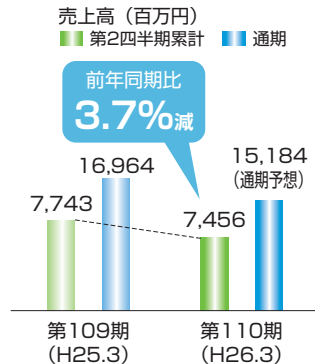
■ 第2四半期累計 ■ 通期 (単位：百万円)

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

ポンプ事業

84.3%

売上高構成比



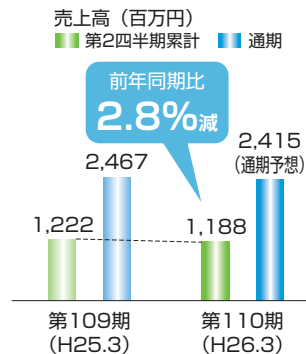
ポンプ事業は、ケミカル用モータポンプ、ケミカル以外用モータポンプともに国内外で販売が減少しました。内訳は、ケミカル用モータポンプにおいては、冷凍・空調機器モータポンプは国内で増加したものの、主力のケミカル機器モータポンプは国内外で減少しました。また、ケミカル以外用モータポンプにおいては、半導体機器モータポンプが国内で増加したものの、電力関連機器モータポンプが主に海外で、定量注入機器ポンプが主に国内で減少しました。

その結果、売上高は74億56百万円（前年同期比3.7%減）、連結売上高に占める割合は84.3%となりました。また、営業利益は、売上の減少、粗利率の悪化並びに販売費及び一般管理費が増加した結果、5億97百万円（同39.4減）となりました。

電子部品事業

13.4%

売上高構成比



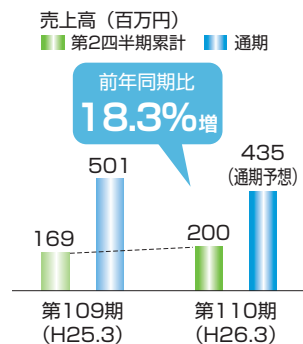
電子部品事業は、自動車業界全体としては、国内ではエコカー補助金制度の終了による影響があったものの、海外向けでは北米やアセアン地域等で売上が伸び、全体として回復基調となっておりますが、当社グループにおきましては、受託先企業からの仕事量の一部が海外移転したこと等により自動車用電装品の電子機器ユニットの需要が減少したため、売上高は11億88百万円（前年同期比2.8%減）、連結売上高に占める割合は13.4%となりました。

また、営業利益は、粗利率の改善等により、31百万円（同15.9%増）となりました。

その他

2.3%

売上高構成比



その他は、昇降機等の特殊機器の売上が増加したことから、売上高は2億円（前年同期比18.3%増）、連結売上高に占める割合は2.3%となりました。

また、営業利益は、売上の増加並びに販売費及び一般管理費の減少等により、28百万円（同245.2%増）となりました。

ー海外展示会出展報告ー

帝国電機製作所グループは、さらなる世界シェアの拡大を目指し、国内だけにとどまらず、海外で開催される展示会等へも積極的に当社製品を出展しています。

今回は、帝国電機製作所グループを牽引する大きな力となっている子会社のTEIKOKU USA INC.と大連帝国キャンドモータポンプ有限公司が参加した展示会についてご紹介いたします。

第29回 ポンプシンポジウム
第42回 ターボマシナリーシンポジウム

2013年9月30日～10月3日に、米国・ヒューストンにて「第29回 ポンプシンポジウム」、および「第42回ターボマシナリーシンポジウム」が開催され、TEIKOKU USA INC.が参加いたしました。

今回のシンポジウムでは、TEIKOKU USA INC.の新たな目玉商品である「API685完全準拠キャンドモータポンプ（無漏洩ポンプ）」を中心とした展示およびプレゼンテーションを行い、業界関係者から大きな反響を得ることができました。

米国の石油関連施設で使用するすべての機器類は、米国石油規格に準拠していなければならない、API685はその規格における無漏洩ポンプ専用の規格です。

かつては米国石油規格に無漏洩ポンプ専用の規格がなかったため、米国内での石油関連設備において当社のキャンドモータポンプ（無漏洩ポンプ）が導入される機会は少なく、また新たな大型設備投資もほとんどなかったため、当社製品の活躍する機会は限られたままとなっております。

しかし近年、シェールオイル・シェールガスの採掘技術確立により取り出される安価な石化燃料を求めて多くの石油会社、化学会社、米国内での新たな大型設備建設計画の具体化を進めております。さらに、精製分野のみならず、当社のキャンドモータポンプの特徴を最大限に活かすことができる化学品プロセスの新規設備建設計画も多く進められています。この潮流に乗るべく、API685完全準拠キャンドモータポンプを武器として、当社の技術力・実績をアピールし、米国内での一層のシェア拡大に努めてまいります。



AchemAsia 2013

2013年5月13日～16日に、北京国家会議センターにて「AchemAsia 2013」が開催され、大連帝国キャンドモータポンプ有限公司が参加いたしました。

「AchemAsia」とは、ドイツ化学工業技術協会と中国化工学会の共同主催によるアジア最大規模の国際化学技術見本市で、第9回目となる今回は約25ヶ国の地域から400社もの企業が参加しました。

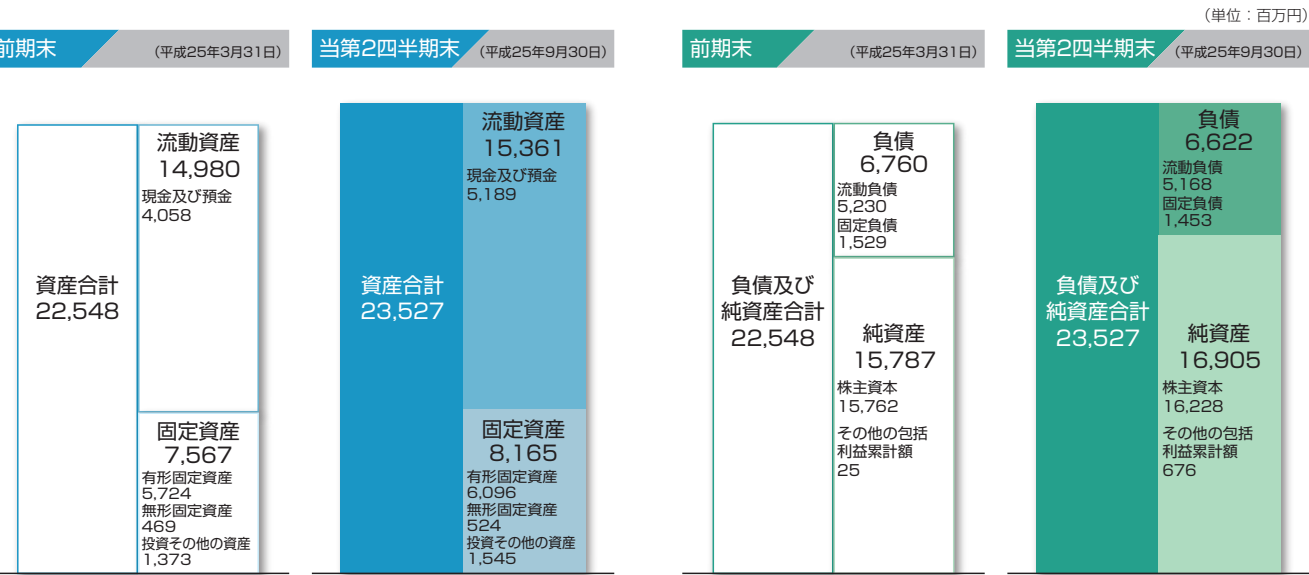
大連帝国キャンドモータポンプ有限公司は今回の見本市で、“地球にやさしい”、“省エネ”、をテーマに、API685に準拠した二極560kWの「超大型キャンドモータポンプ」と、「キャンドモータ攪拌機」などの新製品を中心に展示し、ドイツ、日本、韓国、シンガポール、インド、アラブ首長国連邦、インドネシア、パキスタンなど約200社にのぼる国内外の企業様にご来場いただき、大盛況となりました。なかでも、「超大型キャンドモータポンプ」は、規模の利益や効率追求の面から石油業界や電力業界でのニーズが高まっており、大変注目を集めました。

今回の展示により、大連帝国キャンドモータポンプ有限公司が、中国におけるキャンドモータポンプ業界の“リーディングカンパニー”であることをあらためて認識していただくとともに、世界におけるテイコクブランドの存在感を示すことができました。

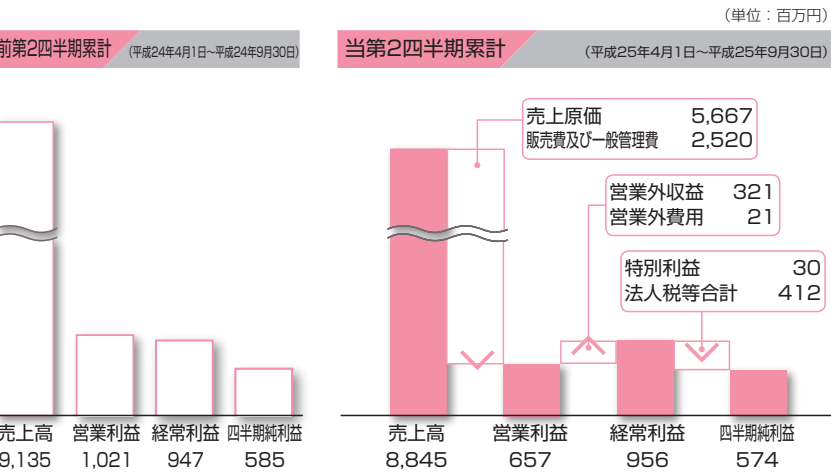
今後も、ケミカル産業が急成長している中国において開催される展示会等に積極的に参加し、技術力をアピールすることで、さらなるシェア拡大を目指します。



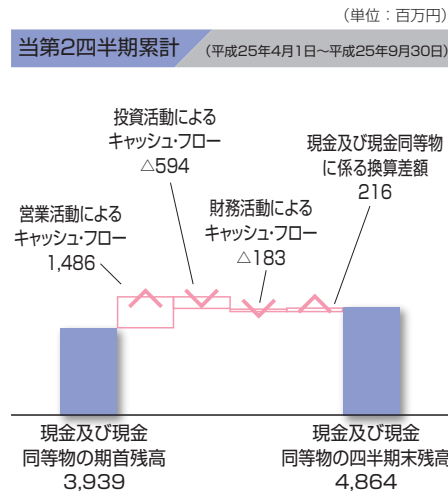
四半期連結貸借対照表



四半期連結損益計算書



四半期連結キャッシュ・フロー計算書



会社概要 (平成25年9月30日現在)

社名	株式会社帝国電機製作所 TEIKOKU ELECTRIC MFG. CO., LTD.
設立	昭和14年9月12日
資本金	21億1,682万3,450円
従業員数	連結 1,247名 単体 343名 〒679-4395
本社	兵庫県たつの市新宮町平野60番地 Tel. 0791-75-0411 (代表)
ホームページ	http://www.teikokudenki.co.jp/

役員 (平成25年9月30日現在)

代表取締役社長	宮地 國雄	常勤監査役	田中 久継
取締役	中村 嘉治	常勤監査役	前野 理生
取締役	尾上 喜一郎	監査役	長谷川 克博
取締役	大川 貴広	監査役	曾我 巖
取締役	白石 邦記		

グループ会社 (平成25年9月30日現在)

国内子会社	・株式会社協和電機製作所 ・上月電装株式会社 ・株式会社帝伸製作所 ・株式会社平福電機製作所 ・株式会社帝和エンジニアリング
海外子会社	・TEIKOKU USA INC. ・大連帝国キャンドモータポンプ有限公司 * 台湾帝国ポンプ有限公司 * 無錫大帝キャンドモータポンプ修理有限公司 * 済南大帝キャンドモータポンプ修理有限公司 ・TEIKOKU SOUTH ASIA PTE LTD. ・TEIKOKU ELECTRIC GmbH ・TEIKOKU KOREA CO.,LTD. (注) *は大連帝国キャンドモータポンプ有限公司の子会社であります。

株式の状況 (平成25年9月30日現在)

発行可能株式総数	34,600,000株
発行済株式の総数	9,450,069株
株主数	3,242名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
三菱電機株式会社	1,143,200株	12.57%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	596,500株	6.56%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	429,200株	4.72%
徳永耕造	281,200株	3.09%
刈田耕太郎	271,622株	2.99%
帝国電機取引先持株会	220,600株	2.43%
江頭誠	214,977株	2.36%
江頭憲治郎	209,976株	2.31%
入江慶次郎	206,100株	2.27%
株式会社三井住友銀行	205,000株	2.25%

(注) 上記の他に当社は自己株式356,281株を所有しております。

株式分布状況

